

# アジャックス AWG とは？



アジャックスAWGとは、Arbitrary Waveform Generator（段階的波動電子発生装置）の頭文字です。

AWGは、1971年より米国・カナダ・日本の分子生物学者・医師・獣医師・物理学者・科学者・細菌学者の7名がアメリカでチームを結成して牛の人工授精の研究からスタートした医療機器です。

その後、23人の医師・大学教授・医学・薬学者の協力を得て、今日40数年の歳月を掛けて開発完成させた医療機器です。



物質には、固有の周波数が存在します。それは、人の骨や臓器でも同じです。

そのため、50年以上前から科学者により、肉体の各部位ごとの「最も良い状態の周波数」が研究されてきました。

アジャックス AWG(商品名)は、細胞に良いと言われている特別な 111種類の周波数を使った低周波治療器です。

111種類の周波数を使い、組み合わせによるコードをベースとして、電子（=マイナス電子）の投射により、ウイルスを破壊し、身体のずれた機能を戻し、低下した能力を引き上げるといった効果があります。

# アジャックス AWG の原理

生体組織細胞に無害の弱電（生体電流）を上下左右より十文字に投射します。この十文字の交差部には2倍または4倍以上の破壊力が加わります。

この技術は「十字放射技術」と称されます。

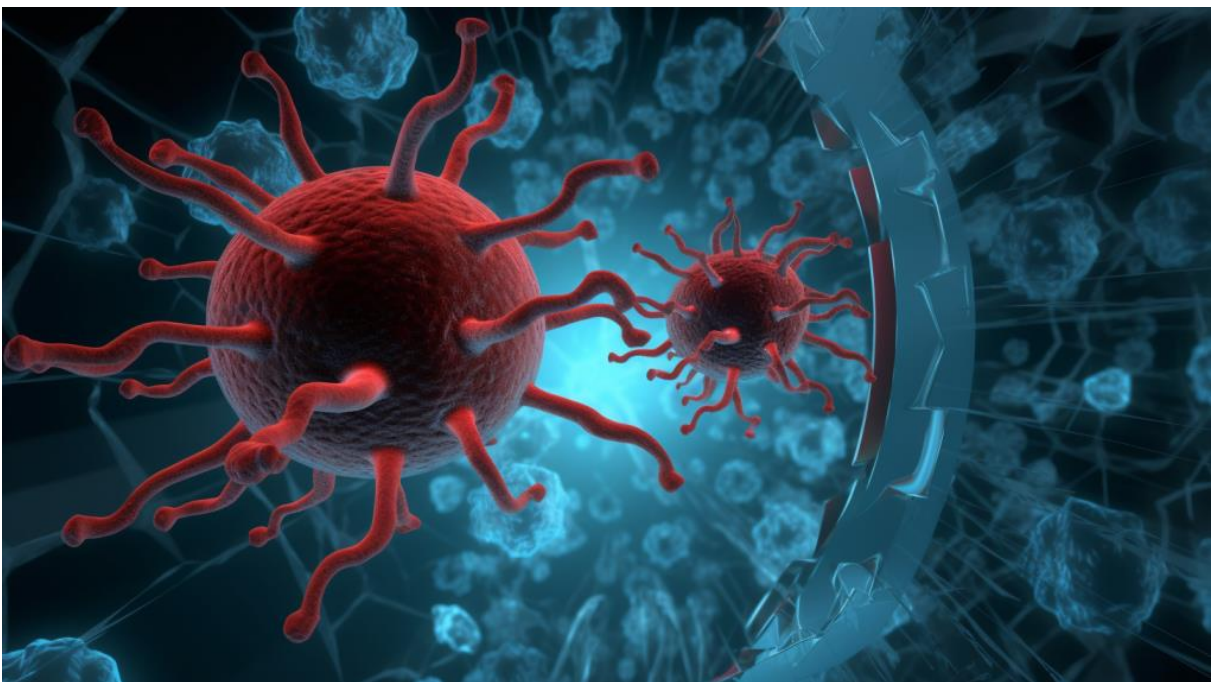
マイナス電子波はこうした投射を1秒間に250万回実施します。

投射された電子は強烈にウイルスやバクテリア等を殺滅します。

ウイルスやバクテリア等にはそれぞれ固有の共振周波数があり、

この周波数に適合させた電子を投射することで共振現象を起こし破壊することができます。

そうした周波数を変動させる機能を持つ装置は、他にはありません。





# 細胞の老化と病気について



細胞の新陳代謝が老化すると、様々な病気の原因となります。

それは酸化力の強い活性酸素の過剰な状態や、臓器ごとの新陳代謝の周期の違いによって発生します。

人体は60兆個の細胞で構成されていますが、それらは日々新陳代謝をしています。そのうち例えば一日7000億個の細胞が新陳代謝している人が、何らかの原因で一日6000億個になれば、残った1000億個が病気の原因になってくるのです。

そして、こうした細胞の新陳代謝を活性化するのに、マイナス電子が非常に効果的だといわれています。